

渡辺課長補佐の説明を聞く理事

第3回体験発表会は5月10日に

今後の事業を協議

福島市で第四回理事会開く

本協会の第四回理事会と新年会が、一月二十一日午後福島市飯坂町のホテル聚楽で開かれた。理事会には、県土木部から渡辺昭夫営繕課長補佐が来賓として出席し、六十二年中間検査結果等についての説明を受けるとともに、工事施工体験発表会等、今後の事業計画について話し合った。

中間検査結果を県から説明

理事会では、大槻清会長のあいさつと、県営繕課の渡辺補佐が、六十二年第一回中間検査の結果(内容は2面に掲載)、電気工事施工管理技術研究の実施内容、建設業法に基づく電気通信工事業法の許可取得の三点について説明し、役員と質疑を行った。

このあと議事に入り、まず事務局から六十二年事業活動及び予算執行と昨年十月に行われた協会の創立三十周年記念事業について報告を受けこれを了承した。次に第三回工事施工体験発表会の開催について協議した。

この発表会は、例年一月下旬に実施されてきたが、この時期は、多忙を極める時期であることから、先の正副会長・支部長会議で、四月下旬から五月上旬に開いてはどうかとの提案が出されていた。理事会では、こうした経過を踏まえ、六十二年中の実施を見送り、来たる五月十日午後一時半より、県及び福島市から担当官を招き電設協会館で実施することを決めた。

次に事務局から、六十三年度の会員研修旅行について提案され、原案どおり「瀬戸大橋と四国の旅」(二泊三日)を四月十四日より行うことを決定した。

最後に協会が実施しているグループ保険の状況について説明を受け、理事会は閉会した。会議で報告された本年度事業活動のうち主なものは次の通り。

- ▽四月二十三日 第一回理事會
- ▽同二十七日 県下一斉に信写機の清掃奉仕(六支部より百七十名と車輛四十八台)
- ▽四月二十三日 第一回理事會
- ▽五月十六日 第三十六回通常総会
- ▽六月二日 第三回理事会(地元業者の活用など)
- ▽同三十日 県首脳部へ陳情(七月十五日 第五回技術講習会(二百五十名が参加))
- ▽八月十九日 創立三十周年記念事業特別委員会

来月県内4カ所で実施

県委託仕様書等説明会

この四月より施行される県建築・設備設計委託仕様書及び委託料算定基準の説明会が三月十四日から県内四カ所で開催される。

この講習会では、テキストを通じて、この基準の概要を学ぶのがねらい。テキストのうち委託仕様書は、設計委託に関する共通業務及び特記すべき事項を規定しており、一方の委託料算定基準は、設計・監理業務を委託する場合の委託料算定基準を定め、あわせて積算を簡便化するため一位代価表を作成している。

25日には積算基準の説明会

申請込みは、(財)建築士事務所協会(福島市中町七七一)まで郵送で行う。締切日は二月二十五日まで。説明会場及び日程は次の通り。

▽3月14日 福島県自治会館(福島市中町八二)

▽3月16日 浪江町高瀬支六(浪江町高瀬支六一〇)

▽3月17日 郡山会館(郡山市桑野一三三)

▽3月18日 若松建設会館(会津若松市山鹿町二一六)

※時間は、いずれも午後一時から四時まで。

63年度の日程決まる

建築設備士試験・講習

— 学科試験は6月 —

この説明会は、建設省が公表している、建築工事積算基準の解説をとりまとめた同書をテキストに、単位作成等について勉むというものである。

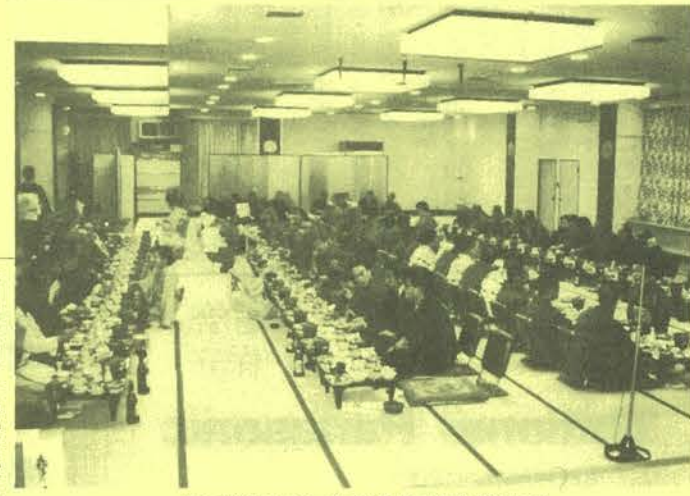
昭和六十三年建築設備士試験及び講習の日程がこのほど発表された。

建築設備士制度は、建築設備の高度化、複雑化が進む中で、建築設備に係る設計・工事監理についての確実に対応するため、さる五十八年五月建築士法の改正により設けられ、その具体的内容は、六十年十一月の建設省告示で定められた。建築設備士は、建築設備全般に関する知識及び技能を有し、建築士に対して高度化・複雑化した建築設備の設計・工事監理に関する適切なア

なごやかに新年会

理事会終了後、会場を大広間に移し恒例の新年会が行われた。

- ▽同二十六日 県土木部首脳に陳情
- ▽九月八日(十一日) 第六回中堅技術者研修(三十六名参加)
- ▽同日 現場研修会(大規模年金保養基地現場・八十名参加)
- ▽十月六日 協会創立三十周年記念式典・祝賀会
- ▽十二月四日 公営住宅政府予算確保陳情(東京都)



なごやかに行われた恒例の新年会

電 設 新 聞

発行所
社団法人
福島県電設業協会
発行人 大槻清
郵便番号 960
福島市松浪町9-6
(福島県電設協会館)
電話 (0245)33-6226
編集印刷 福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

新装開店!oooo
お気軽にお立ち寄り
出し入れ自由
どんどん殖える

中国ファンドの
日興證券
福島支店
福島市大町4-4 ㊦960
0245-22-7111

National 松下電工

部屋ごとに、あかりを着せ替え。

はじめに基本灯具をつけておくと、あとはパネルやルーバを着せ替えるだけで、用途ごとに最適な照明が自在にできます。基本灯具(下面開放)は3タイプ、パネルやルーバは各15タイプそろい、部屋の目的に合った配光と雰囲気を得られます。

例えばOALームが広がり一般事務室が狭くてもオプションを替えるだけで最適な照明。

OAルームに OAコンフォート(VDTへの映り込みを防止)

会議室に 乳白パネルタイプ(ソフトで落ちついた明るさ)

一般事務室に コンフォート15(まぶしさを抑えながら明るく)

デジタルオフィス用蛍光灯器具
コンビネーションフリーシリーズ

●お問い合わせは、(〒963)郡山市石塚111番地 松下電工・福島営業所コンプリールーム ☎0249(44)3331

62年度第1回中間検査の結果について

検査員：土木検査課 園辺利夫 営繕課 渡辺昭夫

- 全般的に書類（契約書・施工計画書・社内検査記録書等）は良く整備されており、進捗状況も五〇～九〇％で、施工については、精度、養生等と良好なものが多いが、次のような点について、今後竣工に向けて留意していただきたい。
- ① 共通事項
 - 1 施工計画書
 - 2 施工図、官庁手続等の作成（提出）及び承諾（検査）
 - ② 現場説明書
 - 3 現場説明書
 - 4 現場事務所
 - 5 社内検査実施状況の写真がないものがあった。
 - 6 社内検査組織及び検査時期が明記されていなかった。
 - 7 2下請通知書
 - 8 受取人の氏名違いがあった。
 - 9 黒板に撮影年月日の記入のないものがあった。
 - 10 資材搬入状況の内容がわかるよう撮影すること。
 - 11 7 使用資材
 - 12 使用資材
 - 13 使用資材
 - 14 使用資材
 - 15 使用資材
 - 16 使用資材
 - 17 使用資材
 - 18 使用資材
 - 19 使用資材
 - 20 使用資材
 - 21 使用資材
 - 22 使用資材
 - 23 使用資材
 - 24 使用資材
 - 25 使用資材
 - 26 使用資材
 - 27 使用資材
 - 28 使用資材
 - 29 使用資材
 - 30 使用資材
 - 31 使用資材
 - 32 使用資材
 - 33 使用資材
 - 34 使用資材
 - 35 使用資材
 - 36 使用資材
 - 37 使用資材
 - 38 使用資材
 - 39 使用資材
 - 40 使用資材
 - 41 使用資材
 - 42 使用資材
 - 43 使用資材
 - 44 使用資材
 - 45 使用資材
 - 46 使用資材
 - 47 使用資材
 - 48 使用資材
 - 49 使用資材
 - 50 使用資材
 - 51 使用資材
 - 52 使用資材
 - 53 使用資材
 - 54 使用資材
 - 55 使用資材
 - 56 使用資材
 - 57 使用資材
 - 58 使用資材
 - 59 使用資材
 - 60 使用資材
 - 61 使用資材
 - 62 使用資材
 - 63 使用資材
 - 64 使用資材
 - 65 使用資材
 - 66 使用資材
 - 67 使用資材
 - 68 使用資材
 - 69 使用資材
 - 70 使用資材
 - 71 使用資材
 - 72 使用資材
 - 73 使用資材
 - 74 使用資材
 - 75 使用資材
 - 76 使用資材
 - 77 使用資材
 - 78 使用資材
 - 79 使用資材
 - 80 使用資材
 - 81 使用資材
 - 82 使用資材
 - 83 使用資材
 - 84 使用資材
 - 85 使用資材
 - 86 使用資材
 - 87 使用資材
 - 88 使用資材
 - 89 使用資材
 - 90 使用資材
 - 91 使用資材
 - 92 使用資材
 - 93 使用資材
 - 94 使用資材
 - 95 使用資材
 - 96 使用資材
 - 97 使用資材
 - 98 使用資材
 - 99 使用資材
 - 100 使用資材
 - ③ 電気設備工事
 - 1 接地抵抗測定は定期的に行い記録をすること。
 - 2 電動工具の絶縁測定を記録に残すこと。

第1回中間検査（電気）実施表

事務所	検査月日	件数	金額
福島	62.10.22,23	2	33,300
会津若松	62.10.26	2	22,900
いわき	62.10.27	2	19,100
計		6	75,300

(単位千円)



福島市で開かれた県建産連新年賀詞交換会

県建産連

初の賀詞交歓会開く

来賓ら約150名が出席

（県建設産業団体連合会）本多功会長、初めての新年賀詞交歓会が、一月十二日午後五時十五分から福島市のホテル辰巳屋に、会員と来賓ら合わせて百五十名を集めて盛大に開かれた。

会ではまず大槻清副会長（本協会会長）が開会のことばを述べたのに続き、本多会長が「我々公共事業に携わる者にとつて、最も大きな出来事は、国の内需拡大に向けた景気浮揚策が実施されていることであり、今後も継続されることを願う。今後とも自助努力により、経営基盤の強化と技術の向上を図り社会的使命を全うしてゆきたい」と業界の姿勢を強調した。

このあとの祝辞では、知事代理の佐藤静雄出納長が「昨

年は最も厳しい財政事情ではあったが、国に呼応して積極的に公共事業の推進に努めた。おかげで最近では、県内の景気も上向き税収も伸びを示している。来年度の要望事業について、

いても、ほぼ満額の予算獲得ができた。皆様方にも二十一世紀へ向けた県土づくりのために御理解いただきたい」と述べた。続いて吉田修一福島市長、奥野晴彦東北地建福島工務事務所長らが祝辞を行ったあと、渡辺秀夫県土木部長の首頭で乾杯し、なごやかに祝宴に入った。

共同保守受託促進を

県電工組・第三回理事会

県電工工事業者組合（中島春記理事長）の第三回理事会が、さる一月十八日午後二時から福島市のえびすグランドホテルで開かれた。

二十五名の理事全員が出席した会議では、まず中島理事長があいさつ「電気工事業界は、大きな転換期を迎えている。業界の将来を考慮し、対応できるような望み」と年頭の所感を述べた。

次に、役員として長年にわたり組合に功績を残した相笠忠一氏（白河電設）と梅津藤吾氏（オーム電気）に中島理事長から感謝状と記念品が贈呈された。

続いて議事に移り、予算の執行状況と昨年仙台市で開かれた第五回電気工事業者全国大会について事務局から報告を寄せたあと、引込線委託工事単価改訂や共同保守管理業務、それに電気工事施工管理技術検定等について協議した。

このあと東北電力福島支店の幹部を招き、電力の説明と懇談を行い閉会した。

閉会後同会場で、新年会が開かれ、なごやかに懇談するとともに組合の発展を誓い合った。

建災防が呼びかけ

年度末労災撲滅運動

建設業労働災害防止協会福島県支部（本多功支部長）で、二月一日から三月三十一日まで「年度末特別労働災害撲滅運動」を展開している。

建設業の労働災害はこのところ減少傾向にあり、労働災害の多発が懸念されることから、同運動を展開するもので、各事業場での実施を呼びかけている。

運動では、「建設業労働災害防止計画」に定めている三大災害の徹底を図るとともに、特に中小規模工事現場の安全衛生管理を強化して、



相笠・梅津両氏を表彰した電工組理事会

労働災害の絶滅を期することになっている。

啓蒙運動の内容は次の通り。

(1) 支部の実施事項

① 発注機関への協力要請

② 発注者に対する、文書による協力要請

③ 監督官庁への協力要請

④ 労働基準局、監督署の指導による支部、分会の特別安全パトロールの実施

⑤ 安全意識の高揚

⑥ 本運動の趣旨の徹底を図るための実施要領およびポスター等の配布

(3) 会員事業場の実施事項

① 年度末特別労働災害撲滅運動のほり、安全旗の掲揚

② 労働者の安全教育

③ 安全衛生講習会の実施

④ 安全衛生講習会の実施

⑤ 安全衛生講習会の実施

⑥ 安全衛生講習会の実施

⑦ 安全衛生講習会の実施

⑧ 安全衛生講習会の実施

⑨ 安全衛生講習会の実施

⑩ 安全衛生講習会の実施

⑪ 安全衛生講習会の実施

⑫ 安全衛生講習会の実施

⑬ 安全衛生講習会の実施

⑭ 安全衛生講習会の実施

⑮ 安全衛生講習会の実施

⑯ 安全衛生講習会の実施

⑰ 安全衛生講習会の実施

⑱ 安全衛生講習会の実施

⑲ 安全衛生講習会の実施

⑳ 安全衛生講習会の実施

㉑ 安全衛生講習会の実施

㉒ 安全衛生講習会の実施

㉓ 安全衛生講習会の実施

㉔ 安全衛生講習会の実施

㉕ 安全衛生講習会の実施

㉖ 安全衛生講習会の実施

㉗ 安全衛生講習会の実施

㉘ 安全衛生講習会の実施

㉙ 安全衛生講習会の実施

㉚ 安全衛生講習会の実施

㉛ 安全衛生講習会の実施

㉜ 安全衛生講習会の実施

㉝ 安全衛生講習会の実施

㉞ 安全衛生講習会の実施

㉟ 安全衛生講習会の実施

㊱ 安全衛生講習会の実施

㊲ 安全衛生講習会の実施

㊳ 安全衛生講習会の実施

㊴ 安全衛生講習会の実施

㊵ 安全衛生講習会の実施

㊶ 安全衛生講習会の実施

㊷ 安全衛生講習会の実施

㊸ 安全衛生講習会の実施

㊹ 安全衛生講習会の実施

㊺ 安全衛生講習会の実施

まぎらわしい講習会案内に注意

建設省は、一月二十五日に国家資格試験に直結するものとして誤認しやすい民間団体の実施する講習等に注意するよう関係団体に通達した。

これは、依然として国が実施する資格の名称を表示し、これに直接関係する誤認させる内容で講習会等の受講の勧誘する民間団体が、トランプも多数発生していることから出されたもので、国家資格について十分な知識を持つよう呼びかけている。

建設業法に基づく国家資格の試験や講習会は、官報や正式なポスター等により広告されることになっており、各個人あてに電話やダイレクトメール等で勧誘や案内するものではない。

協会事務局では、六十三年度から電気工事施工管理の技術検定が開始されることなどから、特に会員に對しまぎらわしい講習会について注意を呼びかけている。

映像 音響機器の総合システム設計・工事 保守

National/Panasonic

松下電器産業株式会社
東北情報システム営業所 (022) 223-5111代
福島ナショナル情報システム株式会社
本社 (0249) 23-1710 いわき(営) (0246) 24-1821
福島(営) (0245) 35-6186 会津(S S) (0242) 23-1919

社会のニーズに応え 省エネに貢献する.....Aichi

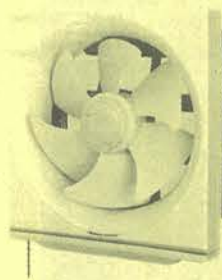
各種トランスの **愛知電機**
高圧スイッチの **大垣電機**

(発売元)
愛知電機商事(株) 仙台営業所
仙台市宮町1丁目1-20
TEL 022-221-5576

東芝一般換気扇

セレクトファン2機種

●業界初のワンタッチ着脱方式



運動式
VFH-20AN (20cm)
¥11,100◎
(埋込寸法25cm角)
VFH-25AN (25cm)
¥12,600◎
(埋込寸法30cm角)

- 低騒音
- 大幅な省電力化実現
- 白を基調にした薄形デザイン

いま輝いています

MARUMOの舞台TV照明設備

小さなスポットライトから、コンピュータ制御の記憶付調光システムまで、舞台照明のすべての分野でMARUMOは、今日もあなたの製造の現場で、お役にたっています。



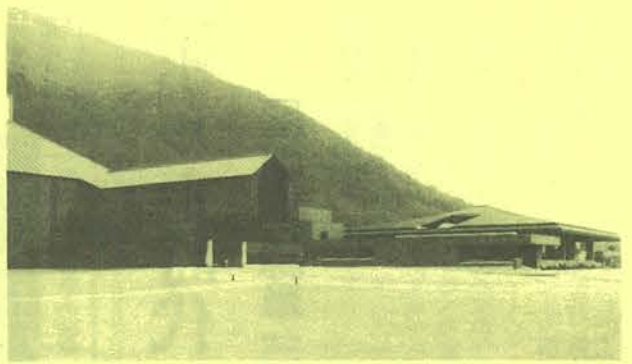
MARUMO ELECTRIC CO., LTD.
丸茂電機株式会社

本社・営業部 〒101 東京都千代田区神田真田1-24
TEL 03-252-0321
大阪営業所 〒530 大阪府北区神津9-6東梅田ビル
TEL 06-312-1913-1922
名古屋営業所 〒460 名古屋市中区栄町4-11中野ビル
TEL 052-263-7425
福岡出張所 〒810 福岡市中央区大名1-14-45福岡同池ビル
TEL 092-741-4762
広島出張所 〒734 広島市皆実1-10-2広島建設工業ビル
TEL 082-252-1600

県建築文化賞決まる

16日に福島市で表彰式

正賞 県立美術館と図書館



第六回県建築文化賞は、福島市の県立美術館図書館に決定した。文化の薫り高い魅力的な建築物を表彰する同賞は、一月二十日入賞作品が発表され、正賞に福島市の県立美術館・県立図書館、準賞に郡山市の開成柏屋、そのほか奨励賞二点、特別部門賞三点が選ばれている。

表彰式は、二月十六日午前十一時から福島市の杉妻会館で行われる。入賞作は次の通り。受賞建築物(所在地)、建築主、設計者、施工者の順

- ◎県建築文化賞(正賞) 県立美術館・県立図書館(福島市)、県教委、大高建築設計事務所(美)、石本建築事務所(図)、鹿島建設東北支店(美)、大林組東北支店(図)
- ◎準賞 開成柏屋(郡山市)、薄皮頭柏屋、ショップ、大信建設
- ◎奨励賞 山都中(山都町)、山都町、清水公夫研究所、入谷建設工業 夜の森パークサイドテラス(原町市)、半沢希信、都市環境計画・間組仙台支

日程決まる 国・公団関係入札 参加資格審査申請

昭和六十三年度の指名入札参加資格審査申請のうち、国・公団関係の提出要領は次の通り。

今回は、隔年制のため追加受付が多い。

①提出期間②受付年度③提出先④の順。

総理府

- ①2月1日～2月29日②隔年制の追加受付③建設部経理課決算第一係
- 仙台防衛施設局
- ①2月1日～2月29日②隔年制の追加受付③建設部経理課決算第一係

支店

- 霞ヶ城箕輪門(二本松市)
- 二本松市、藤岡建築研究所
- 松井建設東北支店

①随時(なるべく2月中) 分を受付け③大臣官房総務課

②隔年制の追加受付③建設部 設計課経理係

①2月1日～2月29日②隔年制の追加受付③用度課 運輸部東京航空局

②隔年制で追加受付はなし③経理課契約係

東北財務局・仙台国税局

- ①2月1日～2月29日(その後随時受付)②六十三・六十四年度分の受付③東北財務局宿舎課及び各財務事務所管財課
- 仙台通産局
- ①2月1日～2月29日(郵送可)②六十三・六十四年度分を受付け③会計課管理係
- 東北地方財務局
- ①随時②隔年制の追加受付③経理課決算係
- 法務省
- ①2月1日～2月29日(郵送可)②六十三・六十四年度分を受付け③大臣官房総務課
- 日本道路公団仙台建設局
- ②追加受付を檢討中③契約課
- 住宅都市整備公団
- ①2月22日～2月26日②隔年制の追加受付③経理部契約監理課
- 労働福祉事業団
- ①2月1日～2月25日(郵送は2月20日必着)②六十三・六十四年度分を受付け③経理部契約課
- 年金福祉事業団
- ①2月1日～2月29日②六十三・六十四年度分を受付け③施設部施設課
- 雇用促進事業団
- ①1月16日～2月15日(郵送は2月15日必着)③電気と管は六十三・六十四年度分を受付け、本体は追加のみ受付

福島県韓国視察団に参加して

韓国(大韓民国)は、青森県を除いた本州の面積とほぼ同じ大きさを持つ。気候はほぼ日本と同じで、私共の訪問した頃は丁度紅葉の季節で誠に素晴らしい景色だった。ガイドさんの話によれば韓国の民族は大陸の北部から朝鮮半島に移住して来たモンゴル系の後裔で現在六千万人の中の一千万人がソウルに住んでいる。国民は韓国語を国語として用いるが、文字はハングル文字を使用し、学校教育では六三三制の実施と日本語課程も取り入れられている。ソウルは今年の世界平和の祭典、ソウルオリンピックに向け、活気を呈し、市内に林立する高層ビルは正に世界十六都市の名に相応した景観である。宿舎ホテルのプラサーチェックインビルよりの眺めは、まるで東京に居る様な感じだった。内観光に向かった。ソウル

市内は豊かな伝統文化と歴史の宝庫であり、そのなかの影宮園立博物館に足を運んだ。影宮は豊臣秀吉の朝鮮出兵で焼失し、その後再建されたもので、季節の栄華を偲ぶるものがある。また中央博物館は伝統的な韓国文化芸術の粋を表現し、館内には七千五百点もの文化遺産が一堂に整然と展示され、中央博物館の近代建築と展示された新羅高麗時代の古代美術工芸、仏像等との相対的な造容に魅了された。ソウル観光を終り陸路大邱へむかう。四時間後目的地であるオーストラリアに着き、約二時間三十分のミーティングの後、さらに慶州へと向かう。

翌三十日は、早朝より仏国寺、慶州国立博物館を見学する。仏国寺は韓国最大を誇る寺で、現在の寺が再建されたものとは言え、その調和と均整のとれた姿は昔の栄光を今に髣髴させる。また、慶州博物館にはソウルの国立博物館と同様、韓国最高水準のものが展示されており、博物館正面には「エミレ鏡」といわれる新羅時代につくられた巨大な鏡が置かれているのが人目をひいた。これは世界一大きく美しく鳴り響く伝説のある鏡だそうである。また壁の無い博物館と言われる慶州は私共観光客の魅力のポイントでもあり、それがまた旅情のフィルターを通して鮮やかな映像となり、一コ

マ、一コマが心に焼きついた。振り返るに韓国は日本にとって一番近い外国であり古代から文化の交流を通じて密接な関係が結ばれ、今また新たな視点を求めて進んで居るのではないだろうか。訪問先の現代田淵電気社社長は日本と韓国の古代

から、日本企業として、はなから歴史が綴られた時代もあるが、今はお互いに二十一世紀の新しい時代に向って進んで居るのだから、日本を力借りて将来は低開本に負けない企業にしたいと力説していたのが印象的であった。

こうした環境の韓国を訪れる日本企業も最近非常に多くなって来ている事は事実である。大企業のみならず、中小企業も訪韓する。韓国は商品経済を安易に考え、二十年を経て漸くその事に気づいた様に思われるが、今だに販路面でも客に対する説明方法や、ルートも分らず、またその指し導もないという現状である。韓国は今日迄、大企業のみがあらゆる事業に力を入れて参入して来り居る。二、三年中小企業協同組合中央会の指導の元に整備に入ったのが本来の姿の様に思われる。中小企業中央会に於ける考えも進歩がうかがえる。返の様に同族経営で最終的に事業主にOKを取らねば何も出来ぬ、所謂「権力はトップが握る」という制度を直さなければ企業は成功しないと言っている。現在は技術者も少なく、未経験者にまかせて来た無品質の低下などにより、日本も韓国を考慮するようになって来た。また韓国の黒字は五十億ドルと言われているが、これらは財閥の力によるものである。財閥は中小企業を信用していないので、中小企業中央会はそうした点を育成しようとしているが、未だ未だ机上にのるまでは期日を要するであろう。こうした点について、最近、日韓共に考え、所謂「協同体制」が出来はじめた。

随想 「韓国を旅して」

福島県電気工事工業組合 理事長 中島 春 記



三菱照明器具・換気扇

三菱電機販売会社
東北三菱電機商品販売株式会社

福島支店 〒963-05 郡山市喜久田町1-76-1
TEL (0249) 59-6060

会津営業所 〒965 会津若松市天寧寺町3-7
TEL (0242) 27-4425

福島営業所 〒960 福島市御山字田中58
TEL (0245) 34-7121

いわき営業所 〒973 いわき市内郷藤野町194
TEL (0246) 26-0211

原町営業所 〒975 原町市桜井町1-173
TEL (0244) 22-8821

TAKAOKA ◆低損失形変圧器

◆課電表示器 ◆グリーンUPS

■受変電設備、システム製品、水処理その他の環境設備

コンピュータシステムのニーズに応える

高岳製作所

福島営業所 TEL0249(33)7709
〒963 郡山市駅前1-14-21(郡山花椿ビル)

丸吉電機株式会社

電線・ケーブル

株式会 社 丸 吉 電 機 株 式 有 限 公 司

本社 〒105 東京都港区芝3-24-12
TEL (03) 453-5331

仙台支店 〒983 仙台市御町3-5-6
TEL (022) 284-3035~8

取締役社長 吉田 悠

郡山・福島両支部が研修会

40名が熱心に参加

清陵情報高校現場を見学

郡山支部(新野信一支部長)は、一月二十九日午後一時から現場研修会を開催した。対象となったのは、六十三年四月に開校予定の県立清陵情報高校新築工事現場で、県土木部の園辺利夫土木検査課主幹兼専門工事検査員をはじめ、郡山建設事務所の石幡知道次長兼建築課長、菅野喜代文副主任電気技師、玉庇研治技師らを迎え、さらにゲストとして参加した郡山市役所建築課の屋代稔技師らを含め四十名が参加した。



産振棟実習室での研修(上) 現場会議室で行われた質疑



現場会議室で行われた質疑

福島市から講師招く

現場代理人の回答を得るとともに、(副)主幹から講評を受けた。午後五時過ぎ現場研修は終了し、一行は明石会館に移った。この日は、県営講義の渡辺昭夫課長補佐、県郡山建設事務所の叶多清造管理係長、郡山市の関隆司建築係長、それに支部会員の代表者らが加わり、渡辺補佐から関心の高い福島空港の整備計画概要と電気工事施工管理士技術検定試験について説明を受けた。

福島支部と福島地区会管協組の合同研修会



出席者を前にあいさつする佐藤支部長

福島支部(佐藤春雄支部長)と福島地区管工事協同組合(矯正光理事長)の共催による第二回技術研修会が、二月五日午後一時半から、福島市は三七・三%と全国水準七二・五%を大きく下回っており、東北七支店との比較においては、当支店は第六位(二七・七%)と低位にあります。

200ボルト時代に向けて

屋内配線単三化活動を推進

寄稿・東北電力福島支店

一般家庭における電化製品は、テレビ・冷蔵庫・洗濯機など生活必需品となっているものほとんどが、一〇〇%を超える普及率となっており、最所の傾向としては、生活水準の向上、生活様式の変化、さらに夜型社会の進行などに伴い、家電製品に対する消費者ニーズも大きく変わろうとしています。

具体的には、フロアヒーティング、二〇〇ボルトに引き上げることを目指し、

「電力二〇〇ボルト利用懇談会」(座長・茅陽一東大教授)を設置し、これから進む家電製品の大型化に対応しようとしております。そして二〇〇ボルト用機器の開発ビジョンや屋内配線の方法、一〇〇ボルトと併用の場合の安全性などを研究し、今年度春をメドに報告書をまとめると言われております。

現在、当社管内における新増設お客さまの単三化率は三七・三%と全国水準七二・五%を大きく下回っており、東北七支店との比較においては、当支店は第六位(二七・七%)と低位にあります。

アンペア	地区	福島	郡山	いわき	若松	全県	東北7県
10A~60A		29.7	31.5	31.6	33.2	31.2	37.3
30A		48.2	50.3	42.4	63.2	49.9	62.2
20A		1.3	2.8	8.6	0.6	3.2	3.4

これは、一月四日に大槻会長らが東北電力福島支店を訪れた際、桜井支店長から、創立三十周年のお祝いとして贈られたもの。宮城県芸術協会員の大学佑子さんの筆により、明るい色彩の力強いタッチで桐の花が描かれている。



電気技術総合コンサルタント!!

自家用電気施設のご事情は、お気軽に、ご相談下さい。

社団法人 **東北電気管理技術者協会**

福島県支部 郡山市水門町8 電話0249-44-3431

福島電気管理センター 福島市笹谷桜水37-4 電話0245-57-5877

いわき電気管理センター いわき市好間町上好間馬場前39 電話0246-36-2105

若松電気管理センター 会津若松市日新町1-39 電話0242-28-7848

原町電気管理センター 原町市国見町二丁目51-3 電話0244-22-3074

郡山電気管理センター 郡山市水門町8 電話0249-44-3431

事業本部 仙台市花京院二丁目111プレジデントビル 電話0222-61-6015

時代が、熱い注目。HIDライティング。

道路、スポーツ、工場はもとより、ビル、大規模施設、ショップ照明にいたるまで。そのパワーと、その多彩さに、いまそのニーズは高まっています。とくに、アイ マルチハイエースは演色性に優れ、文化・商業施設に幅広く利用されています。

●アイ マルチハイエース ●アイ スペシャルクス ●アイ クリーエース ●アイ サンプルエース

光の総合メーカー **EYE 岩崎電気**

本社/〒105 東京都港区芝3-12-4 ☎03(452)5351(大代) 郡山営業所/〒963 郡山市菜根1-21-17 ☎0249(33)5308(代)

責任分界点・工場構内分岐点の区分開閉器に!

過電流ロック形 **高圧気中負荷開閉器**

7200V 100・200・300・400A **KLT-G-K形**

株式会社 戸上電機製作所

仙台営業所 〒980 仙台市中央1丁目2-3第一ビル ☎022(261)2261 Fax022-261-2263

配電盤専門メーカー

Furukawa

配電盤・制御盤・分電盤 FMA C監視制御システム・FMA C計測システム FMA C-μマイコンコンピュータ・FMA C-MSシーケンスコントローラ F55-8A 自動力率制御継電器・データロガ・ロードチェッカ 板金から組立まで一貫作業の

古川電気工業株式会社

代表取締役社長 茂泉 嘉佐

本社 仙台市扇町2丁目1-10 TEL(022)236-3327代千983 工場 仙台市扇町2丁目1-10 TEL(022)236-6317代千983 支店営業所 東京、仙台、盛岡、青森、秋田、札幌 郡山営業所 福島県郡山市並木4丁目5-2 TEL(0249)34-0859代千963 所長 松田 貴充

高低圧配電盤・自動盤・監視盤・計装盤 分電盤・コントロールセンター・その他

株式会社 山形電機製作所

福島営業所 所長 高橋 実

〒960-11 福島市大森字宮ノ前55の14 TEL(0245)46-1321 FAX(0245)46-1322 本社 山形市大字十文字重産1318-5 TEL(0236)86-4316 営業所/山形・秋田・盛岡・仙台・福島・宇都宮・東京

技術開発で産業界に貢献する **配電盤製造業。**

設計製造品目 高低圧キュービクル・高低圧配電盤・自動制御盤 非常用配電盤・計装盤・分電盤・その他

株式会社 三陽電機製作所

いわき市鹿島町久保字飯栗田8番地 TEL(0246)58-3801代 FAX(0246)58-3019